

iichiko
総合文化センター

大分県立美術館

総合情報誌

大分県芸術文化スポーツ振興財団
Oita Prefecture Arts, Culture and Sports Promotion Foundation

2020 SPRING Vol.88

Take Free

特集

OPAM 5周年の歩み

坂茂建築展 | 仮設住宅から美術館まで

小曽根真 featuring No Name Horses

iichiko グランシアタ ジュニアオーケストラ 10年間のあゆみ

Do you know where this is?
ここはどこでしょう?

教育普及

■美術館でのワークショップ

教育普及は、「びじゅつって、すげえ！」を合言葉に、自分の目でモノを見て楽しむためのワークショップを行ってきました。「朝のおとなの1010(てんてん)講座」「夜のおとなの金曜講座」「みんなの土曜アトリエ」「アトリエ・ミュージアム」「特別ワークショップ&レクチャー」では、子どもから大人まで、たくさんの人たちと一緒にワークショップやギャラリートourを楽しんでいます。



■びじゅつかんの旅・旅じたく

学校が美術館を訪れる「びじゅつかんの旅」は、自分の目で作品を見る美術体験プログラムです。美術館スタッフと一緒に美術館内をめぐるギャラリートourで、美術の楽しさを五感で感じてもらっています。「びじゅつかんの旅じたく」はその準備。学校を訪ね、身体と感覚を活性化させるワークショップを行っています。



コレクション展

5,000点を超える当館収蔵品を紹介するコレクション展を年に5〜6回開催。2年目からは、会期ごとにテーマを設けて展示を構成しています。単に作品を並べるだけでなく、どのようなストーリーでどのように作品をみせるのか、学芸員の腕の見せどころです。



地域美術館体験講座

大分県立美術館では、開館以来地域に作品を展示し、実物ならではの美しさを感じ取ってもらう機会を提供する「地域美術館体験講座」を開催してきました。各地の施設や学校を会場とし、中学生をはじめとする地域の子どもたちを対象とした「スクールミュージアム」や、幼稚園児や保育園児、小学生を中心に招待する「子ども美術館」など、展覧会ごとに内容や対象を変えながら実施してきました。これらの展覧会は、地域の皆さまにも無料で公開しています。



2016年/日田市複合文化施設(AOSE)開館記念、「宇治山哲平」展(日田市企画)×日田巡回展(OPAM企画)に日田市内の中学生を招待しました。



2017年/「大分県立美術館所蔵作品×中津市所蔵作品」。中津市所蔵作品と合わせて展示する作品展に中津市内の全中学校の1年生を招待しました。

大分県立美術館 開館5周年記念イベント

記念式典/ミニステージ/記念トークイベント

4/24(金) 10:30~15:00(予定)
▶大分県立美術館 1階 アトリウム
※詳細は決まり次第、ホームページ等でお知らせします。

カドウ建築の宴



カドウ建築の宴 in OPAM

「可動建築」を活用した空間実験。フード系のお店やアーティストによるワークショップなども開催します。
4/25(土) 10:30~19:30、
4/26(日) 10:30~15:30
▶大分県立美術館 西側広場
参加費:無料(申込不要、当日参加可)
※詳細は決まり次第、ホームページ等でお知らせします。

教育普及ワークショップ

4/25(土) 10:30~11:30
●ふわもこ あんさんぶる
14:00~15:00
●カラフル・インスタレーション スパイラル・フォレスト
4/26(日) 10:30~11:30
●ころころピンポン これぞどうだ! 10,000個のメガ花火
14:00~15:00
●超・ぼわんぼわん祭り
▶大分県立美術館 1階 アトリウム
参加費:無料(申込不要)



特集

大分県立美術館 5周年の歩み

大分県立美術館(OPAM)は皆さまに支えられ、2020年4月に開館5周年を迎えます。開館から現在までに行われた展覧会やイベント等を振り返ります。

START

2014(平成26)年度

・竣工記念「OPAM誕生祭」(H26.11.23)
記念式典、記念展示、館内一般公開等

2015(平成27)年度

大分県立美術館(OPAM)開館



開館前日に記念式典とレセプションを開催し、多くのゲストから祝福を受けました。開館当日はオープニングセレモニーに続き、記念お茶会や国際シンポジウムを開催。30日にはNHK「日曜美術館」とコラボレートしたトークショーも行われました。

▶開館記念展vol.1

モダン百花繚乱「大分世界美術館」
—大分が世界に出会う、世界が大分に驚く「傑作名品200選」



記念すべき開館第1弾の展覧会は、「出会いのミュージアム」にふさわしく、古今東西の名作・名品と大分の文化を象徴する作品の「出会い」をテーマに、国内外の美術館や個人コレクションから厳選された約200点を集めた「モダン百花繚乱「大分世界美術館」」を開催しました。

▶県内の全小学生招待

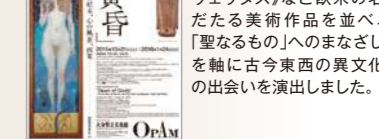
(小学生ファーストミュージアム体験事業)
開館記念事業として、県内の全小学生約6万人の見学を受け入れました。

▶進撃の巨人展 WALL OITA

「描(か)く!」マンガ展
~名作を生む画技に迫る—描線・コマ・キャラ~

・天皇・皇后両陛下(当時)ご来館(H27.10.3)
「太陽の家」創立50周年記念式典御臨席と地方事情ご視察のためご来県。美術館ではコレクション展を鑑賞されました。

▶開館記念展vol.2「神々の黄昏」
—東西のヴィーナス出会う世紀末、心の風景、西東



▶身も心も!現代アートに恋い焦がれて—利岡コレクション+大分アジア彫刻展

2016(平成28)年度

▶OPAM×能勢伊勢雄
シアター・イン・ミュージアム
未完の表現の系譜とは何か?
ライブ、写真、映像、前衛芸術の出会い

▶コレクションに見る 日展に集う作家たち

▶生への言祝ぎ —インスタレーション、十二の柱+出会いのパフォーマンス—

▶片岡辰市コレクションの精華

—竹田と松園、日本美術の雅び—

▶オランダのモダン・デザイン

リートフェルト/ブルーナ/ADO
遊ぶデザイン&暮らしのアート
モダニズムを代表する建築家リートフェルト、「ミッフィー」の生みの親として知られるブルーナ、オランダの玩具メーカー「ADO」を取り上げ、現代人の思想や生活スタイルに大きな影響を与え続けるオランダのモダン・デザインの真髄に迫りました。

▶来館者100万人達成(H29.1.26)

▶東西風景版画の出会い

ターナーから浮世絵、近代版画までの珠玉

2017(平成29)年度

▶何必館コレクション
北大路魯山人展 —和の美を問う—

▶素描の魅力 —作家のアトリエから—

▶ジブリの大博覧会 ~ナウシカからマリーナまで~

スタジオジブリの作品にかかわるポスターや模型など3,000点近くの資料を公開。「天空の城ラピュタ」に登場する巨大な飛行船の模型などが注目を集めました。期間中の来場者は194,564人で、約半世紀ぶりに大分県内の展覧会来場者数の記録を塗り替えました。

▶20世紀の総合芸術家 イサム・ノグチ
—彫刻から身体・庭へ—

20世紀を代表する総合芸術家イサム・ノグチ。石やブロンズの彫刻をはじめ、舞台や家具、照明器具「あかり」のデザイン、陶芸、さらにはランド・スケープのデザインまで、その幅広い活動を多方面から紹介しました。

▶歌心と絵ごころの交わり
二重路 漂泊の画人 佐藤 溪と
俳人 種田山頭火

2018(平成30)年度

▶改組 新 第4回 日展 大分展

▶アート&デザインの大家展
マルセル・ワンダース、須藤玲子、ミヤケマイ

▶人間・高山辰雄展 森羅万象への道

「国民文化祭、全国障害者芸術・文化祭」特別企画

▶日本モダンの精華
京都国立近代美術館コレクション

▶おおい美術散歩 OPAM&豊の国

▶「海と宙の未来」展

▶MEGASTAR(スーパープラネタリウム)

▶国宝、日本の美をめぐる 東京国立博物館名品展

10/6(土)から11/25(日)まで開かれた「第33回国民文化祭・おおい2018」、「第18回全国障害者芸術・文化祭おおい大会」。期間中、美術館では、東京国立博物館所蔵の国宝から最新の科学技術まで幅広いテーマの展覧会を開催。多くの来場者が訪れました。

・皇太子同妃両殿下(当時)ご来館(H30.10.6)
「第33回国民文化祭・おおい2018」、「第18回全国障害者芸術・文化祭おおい大会」開会式に合わせて来県のご来館。「おおい美術散歩」等を観覧されました。

・教育委員会連携 特別企画 高校生特別観覧
教育委員会と連携し、「国民文化祭、全国障害者芸術・文化祭」特別企画の特別観覧(高校生特別観覧、学校団体観覧)を受け入れ、学校ごとにガイドの説明付で各展覧会を見学。110校13,333名の利用がありました。

・来館者200万人達成(H30.10.14)

▶国立科学博物館・コラボミュージアムin大分
「とりになつたきょうりゅうのはなし」
—OPAMに恐竜がやってきた!—

国立科学博物館との共催により恐竜の骨格標本などを展示。国民文化祭期間中にJAXA(宇宙航空研究開発機構)、JAMSTEC(海洋研究開発機構)の協力で開催した「海と宙(そら)の未来」展に続く自然科学系の展覧会。

▶現代アートの宝箱OPAM利岡コレクション

▶黄金とミイラが伝える 古代アンデス文明展

2019(令和元)年度

▶竹工芸名品展
ニューヨークのアビー・コレクション
—メトロポリタン美術館所蔵

▶ムーミン展 THE ART AND THE STORY

ラグビーワールドカップ関連事業

▶名探偵コナン科学捜査展
~真実への推理(アプダクション)~

▶江戸浮世絵の黄金時代 The Ukiyo-e
歌川派 —豊春から国芳、広重まで

日本中が熱狂したラグビーワールドカップ。大分でも5試合が行われました。美術館では、出場国であるウェールズとの交流展示のほか、浮世絵や刀剣といった伝統美や現代のアニメまで幅広く日本文化を紹介。外国人の来場者も多く見られました。

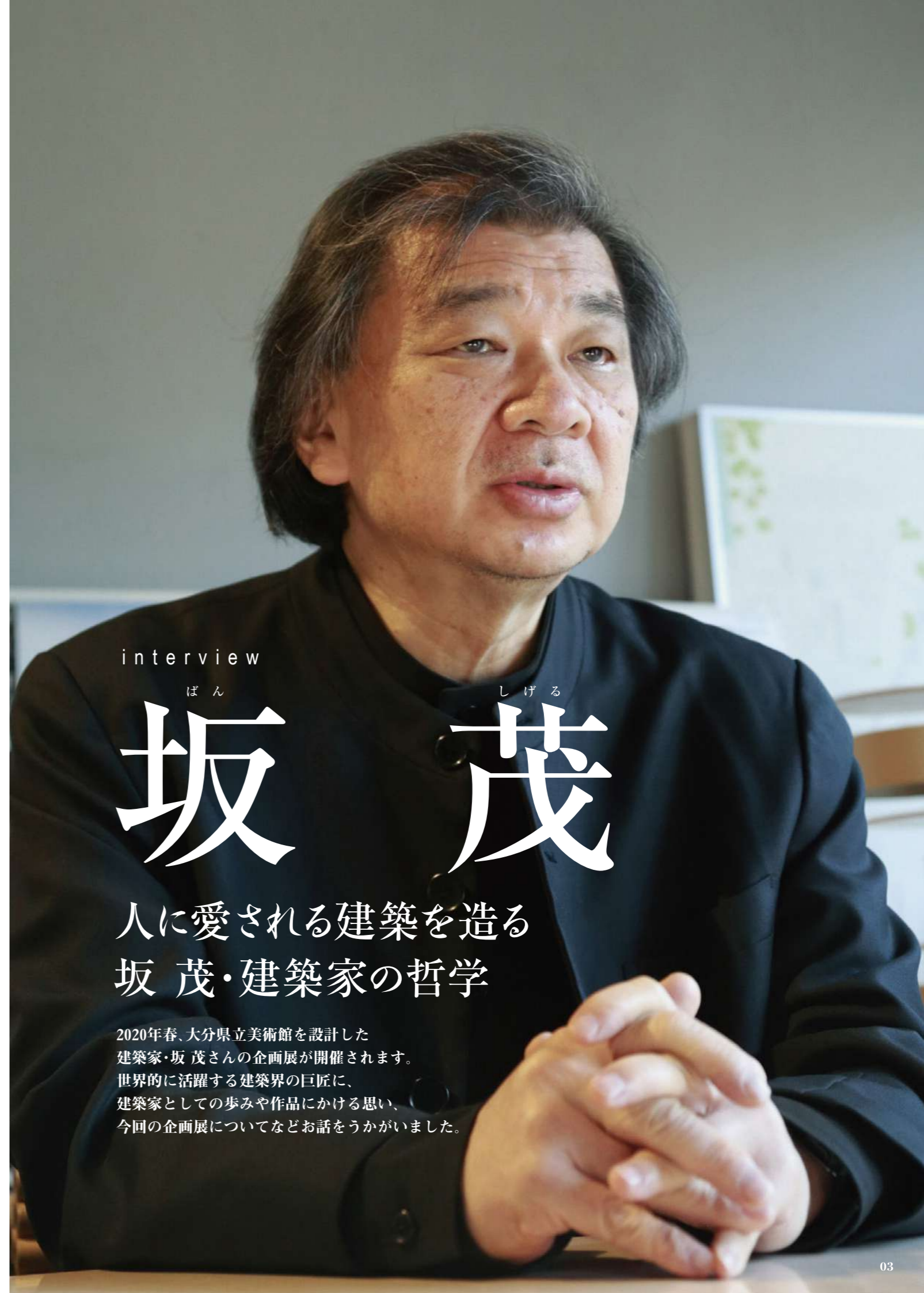
▶日本の美意識 —刀剣と金工—

▶大分×ウェールズ友好交流
The Art of Wales展

▶岡本太郎展

▶ヨーロッパの宝石箱
リヒテンシュタイン侯爵家の至宝展

大分県立美術館は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の対応として、3月2日(月)から当分の間、臨時休館することに致しました。今後も状況を注視しながら対応を進めてまいりますので、詳細はHP等でご確認ください。



interview

ばん

しげる

坂 茂

人に愛される建築を造る 坂 茂・建築家の哲学

2020年春、大分県立美術館を設計した建築家・坂 茂さんの企画展が開催されます。世界的に活躍する建築界の巨匠に、建築家としての歩みや作品にかける思い、今回の企画展についてなどお話をうかがいました。

— 建築家を志したきっかけを教えてください。

幼い頃から建築に興味があり、最初は大工になりたいと思っていました。家を建てるのは大工の仕事だと思っていたからです。中学のとき、技術家庭の授業で簡単な設計を習い、建築家という職業を知りました。建築の道を志したのはそれからです。

高校時代はラグビーに熱中し、将来は建築もラグビーも有名な早稲田大学に行きたいと思っていました。ところが、2年のとき出場した全国大会で1回戦敗退。実力差に気づいて、理工学部でなく美大の建築を目指そうと考えました。そしてニューヨークのクーパーユニオンという美大系建築学科へ留学して本格的に建築を学びました。

— 災害支援を積極的に行っているのが、なぜこうした活動を行っているのでしょうか？

建築家になってみて、その仕事で社会の役に立っていないと感じたからです。お金や権力がある人のために立派な建築を造り、彼らの権威を視覚化する。そんな仕事ばかりの建築家の役割に疑問を感じていました。

転機となったのは、1994年のルワンダ虐殺です。数百万人が難民となった惨状を見て、国連難民高等弁務官事務所に紙管を使った避難シェルターの建設を提案し、コンサルタントになりました。翌年の阪神大震災時には、同じく紙管を使った仮設の集会所「紙の教会」を神戸に建設しました。この「紙の教会」はその後台湾に移設され、20年以上が経つ

た今でも活用されています。

紙の管と聞くと強度に不安を覚える方がいるかもしれませんが、それは単なる先入観。しっかり加工すれば強度や耐久性に優れた素材になりますよ。軽いのを組み立てや解体がしやすく、比較的安価で再利用もできるなど、たくさんのメリットがあります。

— 現在も世界中の被災地で支援をしています。日本では近年、紙管と布を使った避難所の間仕切りシステムが注目を集めました。

避難所用間仕切りを本格的に提供し始めたのは東日本大震災の頃からです。当初は「前例がない」という理由でどこも採用してくれませんでした。説得を重ね少しずつ普及していききました。何度断られても説得を続けたのは、絶対に必要なものだと思っていたからです。プライバシーが守られなければ人間は生活できない。だから絶対に諦めてはならないと思っていました。

最近では昨年の台風19号や、16年の熊本地震などで活用されています。熊本地震のときは、隣県の大分県と私のNPO法人ボランティア・アーキテクト・ネットワーク(VAN)が災害協定を結んでいとおかげで、スムーズに支援できました。私が大分県立美術館を設計した縁ですね。

— 大分県立美術館やフランスのボンビドー・センター・メスなど、美術館も多数手がけています。これらについてご紹介いただけますか。

大分県立美術館は、県民に開かれた場



©Hiroyuki Hirai

何度断られても説得を続けたのは、絶対に必要なものだと確信していたから

を造ることを念頭に置いていました。美術館は愛好家だけが来る、閉じられた空間になりがちです。そうではなく、街を歩いている人が面白そうだから入ってみようと思えるような気持ちの良い空間を目指しました。

ボンビドー・センター・メスも同様に、開かれた空間にこだわりました。また「ピクチャー・ウインドウ」と言って、ギャラリー内の大きな窓から市の代表的なモニュメントが見えるように設計しています。この場所でしか成立しない、外と中が連続する空間を造りたいと考えていました。

災害支援から美術館の建築まで行っていますが、一貫しているのは「人に愛される建築を造りたい」ということ。特に日本人は海外と比べ、公共建築への愛着が少なく感じます。日本の経営者やリーダーが建築に興味がなかったり、良い建築に触れる機会が少なかったり、さまざまな理由がありますが、それでも人に理解され、愛される建築を造ることが建築家の責任だと思っています。

皆さんも良い建築にたくさん触れてほしいです。大分は昨年ブリツカー賞も受賞した日本を代表する建築家・磯崎さんの出身地。磯崎さんが手がけた素晴らしい建築がたくさんあるので、もっと知ってそして誇りに思ってください。

— 11月よ4月24日から大分県立美術館で待望の坂茂建築展が開催されます。展示の見どころを教えてください。

建築に興味がない人や、子どもも楽しめる展示にしたいと考えています。

通常、建築の展示では図面が飾ってあることが多いですが、図面は楽譜と同じで一般の人には読み取れません。そうではなく、原寸大のモックアップや木で作った試作品、建設の工程がわかる映像などを展示する予定です。初期の頃の作品から、18年春にできた由布院駅の観光案内所、昨年に完成したばかりのスイスのスウォッチ・オメガ本社などの近作まで紹介します。大分県立美術館の設計過程やこだわりも紹介しているので、いつも来ている方もそうでない方もより愛着が持てると思います。

展示では1階アトリウムをこれまでになく広く使い、誰でも見られる無料エリアも設置します。無料エリアでは実物大の仮設住宅など、災害支援関連のものを展示し、なるべく体験できる要素を増やしたいと考えています。

全体を通して、建築の知識がなくても楽しめる内容です。見ていただければきっと理解できるので、ぜひ足を運んでみてください。

Data 坂茂建築展

仮設住宅から美術館まで

4/24(金)~6/21(日)

▶大分県立美術館 1階 展示室A・アトリウム

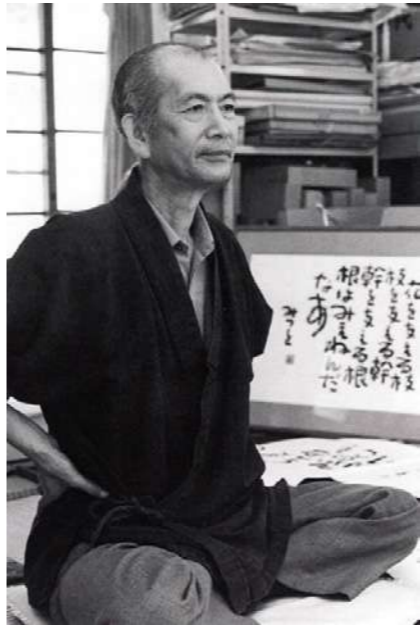
【時間】10:00~19:00、金・土曜~20:00 ※入場は閉館の30分前まで 【料金】一般1,000(800)円、大学・高校生700(500)円 ※ ()内は前売りおよび20名以上の団体料金。障がい者手帳等をご提示の方とその付添者(1名)は無料。学生の方は入場の際、学生証をご提示ください 【問】大分県立美術館 Tel:097-533-4500

代表作「にんげんだもの」「ただいるだけで」などの作品は
いかにして創出されたのか

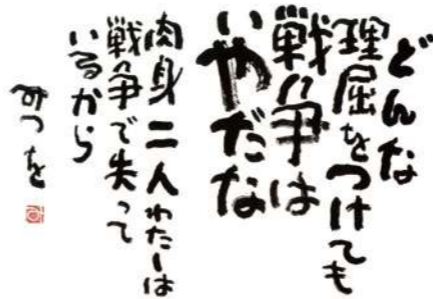
相田みつを 全貌展

東京・丸の内
「相田みつを美術館」が
まるごと大分へ

今夏、相田みつを美術館は東京五輪競技会場の関係で臨時休館となるため、門外不出作
品が大分県で「引越越し」展示されることとなりました。相田みつを（書家・詩人 192
4-1991）の特別展を過去に例のない規模で開催いたします。代表作「にんげんだも
の」「道」「ただいるだけで」などのほか、初期から晩年の作品に貴重な資料まで、約250
点の作品を前期・後期に分けて一堂にご紹介します。

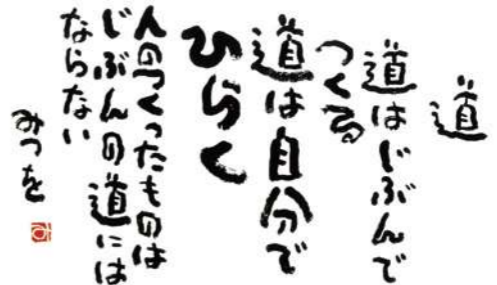


書家・詩人 相田みつを



相田みつを《戦争》1990年頃（前期6/5～7/5展示）

10代で二人の兄を戦争で失ったことが、相田みつをの創作の原点となっています。嘆き悲しむ母の様子に衝撃を受け、生とはどういふことなのか、死とは、いのちとは、自分はどう生きればいいのか、ということを実際に考えるようになりました。



相田みつを《道》1991年（後期7/9～8/10展示）

30歳の時に、第1回目の個展を開き、本格的な創作活動に入ります。それまでは好きな歌人の短歌などを書いていましたが、30代からは自分で詩を作り、自分の詩にふさわしい文字を生涯探し続けました。

テーマは
「いのち」の尊さ

児童虐待や自殺、いじめ、ひきこもりなどが社会問題となつていますが、この展覧会は未来ある子供たちの健やかな成長を願うとともに心に癒やしを与えます。相田みつをは子供への愛情を詩心に託して表現しました。家族のきずな、親子のきずな、思いやりなどを、親子、祖父母、孫など様々な世代で一緒に考えていただく機会となることを願っています。

「いのち」は生きてきてほんとうによかった。どんなときでも心の底からしみじみと言えようかな人生を生きてゆきたい」

（相田みつを「創作ノート」より）

教科書や日めくりカレンダーなど、様々な場所で見られる相田みつをの作品は、多くの世代を通じて親しまれている相田みつを。代表作「にんげんだもの」「ただいるだけで」などの作品は、いかにして創出されたのか。その底辺には、相田の作品への苦悩や情熱、さらに人間存在や関係性への探究心が脈々と流れています。相田みつをを一堂に鑑賞し、その言葉に包まれることで、鑑賞者の方々に「いのち」の尊さを改めて感じていただき、さらに、生きるための「勇気」につなげていただければ幸いです。

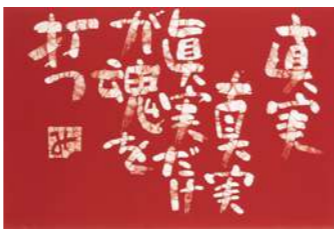


相田みつを《にんげんだもの》1980年（前期6/5～7/5展示）

60歳の時に、初めての著書「にんげんだもの」（文化出版局）が出版されます。出版後、口コミで少しずつ読者を増やしていき、みつをの没後にミリオンセラーとなります。これをきっかけに相田みつをの名前が全国的に知られるようになりました。

書家・詩人 相田みつを (1924-1991)

- | | |
|-----------------|---|
| 1924(大正13)年 | 5月20日栃木県足利市に生まれる。本名光男。 |
| 1942(昭和17)年 18歳 | 旧制栃木県立足利中学校を卒業。歌人・山下陸奥に師事し、歌誌「一路」に参加する。秋の歌会で生涯の師となる曹洞宗高福寺の禅僧・武井哲應老師と出会い、在家のまま師事し禅を学ぶ。翌年19歳の時から本格的に書を学び、書家・岩澤溪石に師事する。 |
| 1945(昭和20)年 21歳 | 6月に召集され宇都宮の連隊に入隊し、終戦まで通信兵の訓練を受ける。 |
| 1954(昭和29)年 30歳 | 第6回毎日書道展に入選。以後、第12回展まで連続7回入選。10月に第1回個展を足利市で開催し、以後、亡くなるまでにおよそ20回の個展を開催する。この頃からろうけつ染めの技術を学び、暖簾、風呂敷等を作成する。また、足利の老舗商店の包装紙や茶（しおり）のデザインを手がける。 |
| 1955(昭和30)年 31歳 | 足利市八幡町へ転居。アトリエをつくり、終生ここで創作を行う。 |
| 1966(昭和41)年 42歳 | 日めくりの原点となった「こころの暦」を樹徳高校（群馬県桐生市）のためにつくる。 |
| 1974(昭和49)年 50歳 | 在家の仏教活動として「円融会」をつくり、「円融便り」（1974年7月～1990年4月まで76号）を発行する。 |
| 1984(昭和59)年 60歳 | 初めての著書「にんげんだもの」（文化出版局）を出版する。 |
| 1991(平成3)年 67歳 | こころの暦「にんげんだもの」とトイレ用日めくり「ひとしずか」（而今社）を発行する。12月17日足利市内の病院で脳内出血により永眠。享年67歳 |



相田みつを《真実》1950年代後半（前期6/5～7/5展示）

31歳の時に、ろうけつ染めの技術を学びます。当時、書を書くことだけでは生活ができなかったため暖簾や風呂敷などを作って販売し、生活の糧としました。

Data 相田みつを全貌展

～いのちの尊さ ことばのチカラ

6/5(金)～8/10(月・祝) 休展日:7/6(月)～8(水)
[前期]6/5(金)～7/5(日)、[後期]7/9(木)～8/10(月・祝)

▶大分県立美術館 3階 展示室B

[時間]10:00～19:00、金・土曜～20:00※入場は閉館の30分前まで [料金]一般1,200(1,000)円、大学・高校生800(600)円、中学・小学生500円(300円)、未就学児は無料、前売り前後期セット券は一般1,800円、大学・高校生1,000円、中学・小学生500円 ※()内は前売りおよび20名以上の団体料金。障がい者手帳等をご提示の方とその付添者(1名)は無料。学生の方は入場の際、学生証をご提示ください ※前期半券提示で後期当日100円割引 [問]大分県立美術館(相田みつを全貌展大分実行委員会事務局) Tel:097-533-4500

お得な
「前売り前後期セット券」
あります!

■講演会

5/24(日) 開演13:00(開場12:00)

▶コンパルホール/文化ホール(大分市府内町1丁目5-38)

演題 「言葉の力 書の力 父 相田みつをを語る」
講師 相田一人(相田みつを美術館館長)

申込み 大分合同新聞社(097-538-9646)※5/10〆切
参加料 無料(要展覧会前売券)

■相田一人館長によるギャラリートーク

前期展:6/5(金)11:00～/14:00～ 各回約20分

後期展:7/9(木)11:00～/14:00～ 各回約20分



主催:相田みつを全貌展大分実行委員会(大分合同新聞社、TOSテレビ大分、公益財団法人大分県芸術文化スポーツ振興財団・大分県立美術館)
後援:大分県、大分県教育委員会、NPO法人大分県芸術、国際ソロプチミスト大分-府内、J:COM大分ケーブルテレコム、エフエム大分、NOAS FM、ゆふいんラヂオ局、月刊・シティ情報おおい

特別協力:相田みつを美術館

特別協賛:こくみん共済coop、株式会社プライム、ヤクシングループ風之荘

LIECHTENSTEIN

『ヨーロッパの宝石箱リヒテンシュタイン侯爵家の至宝展』開催中

2020	コレクション展 I 「美の宝、大分」	2020	コレクション展 II 「ブラック&ホワイト」
<p>開館5周年第1弾のコレクション展となる本展では、田能村竹田、福田平八郎や高山辰雄、生野祥雲など本県出身の巨匠たちからロダンやピカソ、シャガールなどの海外の著名作家まで、5000点を超える所蔵品の中から、その頂点をなす選りすぐりの名品を一堂に公開します。大分の豊かな自然と文化に育まれた作品群から国内外の美術の魅力を伝える優品の数々、一度は観てみたい大分の名宝をこの機会にぜひご堪能ください。</p> <p>開催期間 2020年4/10(金)～6/2(火) 休展日5/13(水) ▶大分県立美術館 3階 コレクション展示室</p> <p>ギャラリー・トーク 4/12(日)、26(日)、5/10(日)、24(日)各日14:00～15:00 ※申込不要、要観覧券</p>		<p>水墨画、油彩画、版画などから、白や黒を基調にした作品を紹介します。また、同時開催の「相田みつを全貌展」にあわせて、県内書家の作品も取り上げます。有彩色に対して、白や黒は無彩色と呼ばれ、それ自身が彩りを放つことはありませんが、作品の質感や陰影を際立たせるなど重要な役割を担います。今回のコレクション展では、白と黒をキーワードに、限定された色が織りなす豊かな美の表情をご覧ください。</p> <p>開催期間 2020年6/5(金)～8/4(火) 休展日7/1(水) ▶大分県立美術館 3階 コレクション展示室</p>	
 <p>福田平八郎《新雷》1948年</p>		 <p>谷口晶之《(77-3(イウ))》1977年</p>	
<p>コレクション展 I・II共通</p> <p>時間 10:00～19:00 ※金・土曜は20:00まで(入場は閉館の30分前まで) 料金 一般300(250)円/大学生・高校生200(150)円※()内は20名以上の団体料金、中学生以下は無料 ※大分県芸術文化友会 のびKOTOBUKI無料、TAKASAGO無料、UME団体料金 ※障がい者手帳等をご提示の方とその付添者(1名)は無料 ※高校生は土曜日に観覧する場合は無料 ※学生の方は入場の際、学生証をご提示ください</p> <p>問 大分県立美術館 Tel:097-533-4500</p>			



ペーテル・パウル・ルーベンスと工房《ペルセウスとアンドロメダ》1622年以降、油彩・キャンヴァス

見どころ 1 九州初 侯爵家が誇る宮廷の至宝

リヒテンシュタイン侯国(こうこく)は、スイスとオーストリアにはさまれた小さな国で、君主である侯爵家の名前が国の名前になっています。侯爵家では、「美しい美術品を集めることにこそお金を使うべき」という家訓が代々受け継がれ、17世紀頃から300年以上にわたり優れた芸術品を収集してきました。その華麗さは、「ヨーロッパの宝石箱」とたとえられています。

宝石箱のような 華麗なコレクション

見どころ 2 ルーベンスを間近で見る 絶好のチャンス!



ウィーン窯・デュ・パキエ時代
《カップと受皿(トランブルーズ)》
1725年頃、硬質磁器

本展では、リヒテンシュタイン侯爵家コレクションから、貴族の肖像や宗教画、神話画、花の絵などを幅広くご紹介しています。肖像画には、リヒテンシュタイン侯や侯妃の姿があり、宗教画には、ドイツ・ルネサンスの画家ルーカス・クラナハ(父)(1472-1553)を筆頭とする巨匠による名画が並びます。さらに注目すべき作品がルーベンス(1577-1640)による《聖母を花で飾る聖アンナ》(1609/10年頃)や《ペルセウスとアンドロメダ》(1622年以降)です。大分で、バロックを代表する画家ルーベンスを観ることができる、またとない機会です。

見どころ 3 東洋と西洋の合作

本展では、貴族の趣向が反映された、煌びやかな磁器をご覧ください。優美な嗅煙草入や色とりどりの花模様のカップからは、宮廷での華やかな生活を想像することができます。ひときわ目立つのが、九州に縁のある《青磁色絵鳳凰雲文金具付蓋物》です。17-18世紀に有田で作られた磁器がはるか遠くのウィーンに渡り、そこで金属装飾されました。東洋と西洋の技術を組み合わせて作った、貴重な作品をお楽しみください。



磁器:日本・有田窯
金属装飾:イグナーツ・ヨーゼフ・ヴェルト
《青磁色絵鳳凰雲文金具付蓋物》
本体:1690-1710年代、磁器
金属装飾:1775-1785年、鍍金されたブロンズ



フェルディナント・ゲオルク・ヴァルトミューラー
《磁器の花瓶の花、燭台、銀器》1839年、油彩・板



ウィーン窯・帝国磁器製作所、ゾルゲンタール時代
《カウニッツ＝リートベルク侯ヴェンツェル・アントンの肖像のある嗅煙草入》
1785年頃、硬質磁器

Data ヨーロッパの宝石箱 リヒテンシュタイン侯爵家の至宝展 3/6(金)～4/19(日) ▶大分県立美術館 3階 展示室B

時間 10:00～19:00、金・土曜～20:00 ※入場は閉館の30分前まで
料金 一般1,200(1,000)円、大学・高校生800(600)円※()内は前売りおよび20名以上の団体料金。障がい者手帳等をご提示の方とその付添者(1名)は無料。学生の方は入場の際、学生証をご提示ください
問 大分県立美術館 Tel:097-533-4500

! 大分県立美術館は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の対応として、3月2日(月)から当分の間、臨時休館することに致しました。今後も状況を注視しながら対応を進めてまいりますので、詳細はHP等でご確認ください。

聴きどころ 4 OPAM コンサート

2020年はベートーヴェン生誕250年の年です。ベートーヴェンが「幻想風ソナタ」をささげた人物がリヒテンシュタイン侯妃ヨーゼファ・ゾフィーでした。本展でこの女性の肖像画をご覧ください。今回の展示会では、関連イベントとして、西洋音楽の演奏会を2回予定しています。日時は大分県立美術館ホームページにてお知らせします。

優雅なひととき
クオリティの高い絵とエレガントな焼き物の数々、そしてリヒテンシュタインゆかりの音楽。優雅な宮廷文化を大分県立美術館でお楽しみください。

所蔵: リヒテンシュタイン侯爵家コレクション、ファドゥーツ/ウィーン
© LIECHTENSTEIN. The Princely Collections, Vaduz-Vienna

OPAM Report

2/5～16 取材日2/16(日)

おおいた障がい者アート展vol.1 日常のアート

2月16日(日)、大分県立美術館2階展示室Bで行われていた「おおいた障がい者アート展vol.1 日常のアート」が、12日間の会期を終えて、盛況のうちに閉幕しました。同展は、昨年11月に開所した「おおいた障がい者芸術文化支援センター」が開催したはじめての展示会です。県内で活動する障がい者アーティストの作品のほか、先進的な取組が国際的な注目を集める障がい者施設「やまなみ工房」(滋賀県)の作品を展示し、県内外から多くの観覧者を集めました。

来場者からは「『障がい』って何だろうと思った」「ただ『生きる』ことの素晴らしさを感じた」等の感想が聞かれ、「障がい」や「表現」に対して考える機会となるとともに、県内における障がい者アート活動の可能性を感じられる展示会となりました。






OITA HALL NAVI

おおいたホールナビ

大分県公立文化施設協議会加盟館が主催する舞台芸術公演情報

<p>4/12(日) [開演] 17:00 [終演] 18:30(予定)</p> <p>coba solo tour 2020 The Accordion [出]coba [料]全席指定5,500円 [所]日田市民文化会館 [ノリリア日田] 小ホール(せせらぎ) [問]☎0973-25-5000</p>	<p>4/12(日) [開演] 10:00 [終演] 15:30</p> <p>第5回ふるさと芸能祭り ～和のついで～ [出]特定非営利活動法人 中津文化協会 加盟団体 [料]全席自由500円、当日800円 [所]中津文化会館大ホール [問]☎0979-24-1155</p>	<p>5/5(火祝)・6(水振) [開演] 5日15:00、6日14:00 [終演] 5日17:00、6日16:00 (共に予定)</p> <p>DRUM TAO 2020年 新作舞台 祭響 Saikyo [出]DRUM TAO [料]全席指定一般6,000円、日田市民5,000円 [所]日田市民文化会館 [ノリリア日田]大ホール(やまびこ) [問]☎0973-25-5000</p>	<p>5/4(月祝)～6(水振) [開演] 10:00 [終演] 17:00</p> <p>スタインウェイを弾きませんか? [料]1000円(30分) [所]ビーコンプラザ・フィルハーモニアホール [問]ビーコンプラザ事務局 ☎0977-26-7111</p>	<p>5/16(土) [開演] 18:00 [終演] 19:30</p> <p>なかつ寄席 桂梅園治・橋家蔵之助 東西二人会 [出]桂梅園治、橋家蔵之助、桂小梅 [料]全席自由1500円、当日2000円 [所]リトルドリーム [問]中津文化会館 ☎0979-24-1155</p>	<p>6/7(日) [開演] 13:00 [終演] 16:00</p> <p>第21回おじさんバンドライブ in中津～甦れ青春!!～ [出]中津近郊で活動するアマチュアバンド [料]全席自由1000円、当日1200円 [所]リトルドリーム [問]中津文化会館☎0979-24-1155</p>
--	--	---	--	--	--



Jazz pianist

Makoto Ozone



Interview

ジャズピアニスト

小曾根 真

ロックのダイナミズムを、 ジャズの王道ビッグバンドで表現

ジャズピアニストの小曾根真さんが8年ぶりに大分でコンサートを開催します。プログレとジャズを共存させ、20歳のギタリストをメンバーに迎えて「ジャンルも年齢の壁も超えた」最新作や、コンサートについてお話をうかがいました。

「新作はジャズとプログレッシブロックを掛け合わせた意欲作です。制作の経緯を教えてください。」

新作の「Until We Vanish 15×15」は、僕が率いる15名のビッグバンド「No Name Horses」の15周年にあわせて作ったアルバムです。新しい曲を書こうと考えていたとき、高校生の頃に好きだったプログレを思い出して、それをビッグバンドというジャズの王道スタイルで表現できないかと思ったことがきっかけです。

僕は常に「自分は今、何を弾きたいんだろう？」と考え続けているんです。恩師のゲイリー・バートンの影響もあるかもしれませんが、はじめに会ったとき、彼はすでにグラミー賞をいくつも受賞していたにもかかわらず「僕はまだ、自分の好きな音楽を探しているんだよ」と言っていました。彼のように、自分も新しい音楽に次々とトライし続ける人で

ありたいと思ったのだと思います。SNSを見てみると、ポジティブな反響が多くてうれしいです。中には「最高だけど、ロック色が強すぎてうちのジャズ喫茶じゃかけられないな」なんてつぶやきもありましたが(笑)。プログレは僕の世代では一世を風靡した音楽ですし、ジャズファンの中にいたプログレ好きが喜ぶ内容になっていると思います。

「弱冠20歳のギタリスト、山岸竜之介さんをゲストに迎えているのも特徴ですね。」

今回のアルバムでは、ジャズに詳しくないギタリストに弾いてほしいと思っていました。僕の音楽を見事に弾ける人はたくさんいるけど、ジャズという言語を知らない音楽家が飛び込んできたときに起こるケミストリーが見てみたかったんです。

ジャズ未経験の20歳のギタリスト

が、平均年齢50代後半のビッグバンドとツアーをまわって、想像できないですよ。でも、話題性で彼を選んだのではありません。竜之介がうまいから一緒にやっているんです。

「実際に山岸さんと一緒にプレイしてみたいかですか？」

僕たちの想像を超える素晴らしい演奏をしてきていますよ。ずっとジャズをやってきた人のようなボキャブラリーはないけれど、その分僕たちが絶対に弾かないフレーズを弾くし、その音楽に責任を持って強く強さがあります。

音楽家同志は演奏しながら瞬間で意思疎通をします。そのとき、失敗しないようにあれこれ考えていたら間に合いません。日常会話で相手の発言を深読みするとテンポが悪く不自然になるのと同じ。竜之介はそれをせず、動物のような反射神経で自分の気持ちに嘘がないように弾くから魅力的なんです。

結果、あれだけディストーションのかかったギターとビッグバンドが競演しているのに、まったく違和感がない音楽になっています。彼と演奏していると、音楽家はジャンルの壁を越えて音楽という大きな共通言語でつながれるんだと改めて感じますね。

「ツアーはどんな内容になりそうですか？」

今回のアルバムの曲を中心に、過去のNo Name Horsesの楽曲も披露する予定です。せっかくだから、

竜之介に彼がこれまで弾いたことがないようなジャズの楽曲を弾かせても面白いかなと考えています。ジャズが何十色もの繊細な色を使ってグラデーションを作るような音楽だとしたら、ロックは原色が見えればわかるんです。ただ、どんなに優れたキーボード一台でも3つの音を同時に出すより、3人のトロンボーンが全力で音を出すほうが迫力があります。ロックはその迫力を、ステージ上の音楽家の「気」を感じるのに最適な音楽。ぜひ会場でそれを体感してほしいですね。

「6月には大分でもコンサートを予定しています。大分の皆さんにメッセージをお願いします。」

大分でコンサートをするのは2012年にNHK交響楽団と共演して以来。僕はあの日のコンサートがとても印象に残っていて、あのツアーで一番良い演奏ができたんじゃないかと感じているくらいです。だから今回も良い演奏ができる気がしています。

知り合いのお店に行こうとか、温泉に行きたいとかあれこれ考えているのですが、何より一番の楽しみは自分の皆さんに音楽を届けられること。久しぶりの長丁場のツアーですが、僕含め、バンドメンバーはみんなコンサートすることに元気

になれるんです。お客さんからいただく笑顔や拍手のパワーって、すごいんですよ。時間やお金を使って見に来てくれる方々のために、生半可なものを見せられません。新しいものを生みだそうと挑戦する僕の生き様を、音楽で表現したいと思っています。もちろん、プロとしてギリギリを目指しながらも楽しくね。皆さんにはそんな挑戦する音楽家たちのドキドキを、ぜひコンサートで見届けていただけたらと思っています。

Data

小曾根真 featuring No Name Horses

Until We Vanish 15×15 15th Anniversary 2020
6/4(木) ▶ iichiko グランシアタ

【時間】18:30開場/19:00開演 【料金】S席5,000円、A席4,000円、B席3,000円、U25割:各半額 【出演】No Name Horses(小曾根真、エリック宮城、木幡光邦、奥村晶、岡崎好朗、中川英二郎、マーシャル・ギルクス、山城純子、近藤和彦、池田篤、三木俊雄、岡崎正典、岩持芳宏、中村健吾、高橋信之介)、スペシャル・ツアーメンバー:山岸竜之介(エレキギター) 【問】iichiko総合文化センターTel:097-533-4004



10年間のあゆみ

ジュニアオーケストラは、年1回の定期演奏会をメインに、出張コンサート、県外ジュニアオーケストラとの交流、音楽祭への参加など、さまざまな経験を積んできました。

- 2009**
 - 4/18 **iichiko** グランシニアタ・ジュニアオーケストラ 結団式
 - 4/3 **第1回定期演奏会**
 - 3/27 **第2回定期演奏会**
 - 3/31 **第3回定期演奏会**
 - 3/26 **第8回定期演奏会**
 - 3/29 **第6回定期演奏会**
 - 3/27 **第7回定期演奏会**
 - 3/26 **第8回定期演奏会**
- 2010**
 - 4/31 **弦楽アンサンブルコンサート**
 - 4/3 **第1回定期演奏会**
 - 3/30 **第4回定期演奏会**
 - 3/1 **iichiko** グランシニアタ・ジュニアオーケストラ N響メンバーとの特別演奏会
 - 3/30 **第5回定期演奏会**
 - 3/29 **第6回定期演奏会**
 - 3/25 **第9回定期演奏会**
 - 3/26 **第8回定期演奏会**
- 2011**
 - 4/10 **アカデミー発足**
 - 3/31 **第3回定期演奏会**
 - 3/27 **第7回定期演奏会**
 - 3/26 **第8回定期演奏会**
- 2012**
 - 9/2 **弦楽アンサンブルコンサート**
 - 9/7 **ハイイツ・ホリガー特別レッスン**
 - 9/27 **第7回定期演奏会**
 - 9/27 **第10回定期演奏会**
- 2013**
 - 3/30 **第4回定期演奏会**
 - 5/16 **第19回別府アルゲリッチ音楽祭**
 - 5/24 **別府アルゲリッチ音楽祭 子どもによる子どものためのコンサート**
 - 5/16 **第19回別府アルゲリッチ音楽祭 子どもによる子どものためのコンサート**
 - 5/24 **別府アルゲリッチ音楽祭 子どもによる子どものためのコンサート**
- 2014**
 - 3/1 **iichiko** グランシニアタ・ジュニアオーケストラ N響メンバーとの特別演奏会
 - 3/30 **第5回定期演奏会**
 - 3/29 **第6回定期演奏会**
 - 3/25 **第9回定期演奏会**
 - 3/26 **第8回定期演奏会**
- 2015**
 - 3/29 **第6回定期演奏会**
 - 3/26 **第8回定期演奏会**
- 2016**
 - 3/27 **第7回定期演奏会**
 - 3/26 **第8回定期演奏会**
- 2017**
 - 3/26 **第8回定期演奏会**
 - 3/26 **第8回定期演奏会**
- 2018**
 - 3/25 **第9回定期演奏会**
 - 3/26 **第8回定期演奏会**
- 2019**
 - 3/30 **第10回定期演奏会**
 - 3/30 **第10回定期演奏会**
- 2020**
 - 3/30 **第10回定期演奏会**
 - 3/30 **第10回定期演奏会**



文化庁文化芸術振興費補助金 劇場・音楽堂等機能強化推進事業 独立行政法人日本芸術文化振興会



iichiko グランシニアタ・ジュニアオーケストラ

第11回 定期演奏会

大分ベートーヴェン・プロジェクト2020 『ベートーヴェンチクルス』に参加!

iichiko グランシニアタ・ジュニアオーケストラが交響曲第1番を演奏します。

! iichiko総合文化センターでは、新型コロナウイルス感染症拡大防止の対応として、上記演奏会を8月10日(月・祝)に延期しました。

11回目の今年、梅田俊明氏を迎え、ベートーヴェン作曲「エグモント」序曲、ヨハン・シュトラウス二世作曲の「美しく青きドナウ」「春の声」など皆さんもよく知る曲を演奏します。この日のために練習を重ねてきた子どもたち。大人顔負けの演奏を、ぜひ会場で体感してください。

8月10日(月・祝)に 公演延期決定

3/29(日) ▶ iichiko グランシニアタ

【時間】開場13:15/開演14:00 ※13:30よりアカデミー生によるロビーコンサートを開催
【料金】一般1,000円(友の会び割引あり)、学生(高校生以下)500円、未就学児無料※ただし3歳以下は入場不可 **【出演】**指揮:梅田俊明、管弦楽:iichiko グランシニアタ・ジュニアオーケストラ **【曲目】**ベートーヴェン:「エグモント」序曲、交響曲 第1番 八長調、F.v.スッペ:「軽騎兵」序曲、ヨーゼフ・シュトラウス:鍛冶屋のポルカ、ヨハン・シュトラウス二世:春の声、トリッチ・トラッチ・ポルカ、皇帝円舞曲、雷鳴と稲妻、美しく青きドナウ
【問】iichiko総合文化センター-Tel:097-533-4004

大分ベートーヴェン・プロジェクト2020



12/7(日) OPAM開館5周年記念 **パーヴォ・ヤルヴィ指揮 ドイツ・カンマーフィルハーモニー管弦楽団**

海外有名オーケストラ 久々の大分公演



レッスンレポート
2020.1/19(日)
今年2回目となる梅田俊明先生のレッスンは、大分県立芸術緑丘高等学校で行われました。「もっとおしゃれな音で!」という指示で、団員の奏でる音がどんどん変わっていきます。特別顧問の内田博先生もご出席くださり、定期演奏会へ向けて仕上がりを確認しました。

JOIN US! / 一緒に音楽をつくる仲間を募集しています。

楽団員募集

入団オーディションがありますが、技術だけではなく、音楽が好きでやる気を重視します。勇気を出して、仲間に加わっていませんか? 初心者のためのアカデミークラスもあります。お気軽にお問合せください。

活動内容 練習:原則として日曜日(月2~3回)、夏季・演奏会前は集中練習あり
会場:iichiko総合文化センター リハーサル室 ほか
演奏会:定期演奏会、アンサンブルコンサート、訪問コンサートなど
団費:月額5,000円(年間6万円)

入団オーディション(随時) 審査内容:面接と楽器の演奏 ※応募用紙に写真を貼って郵送してください
応募用紙ダウンロード→ <http://www.emo.or.jp/>

iiichiko総合文化センター・大分県立美術館 こどもたちへ～芸術文化の学校連携～

iiichiko総合文化センター

iiichiko総合文化センターでは、地域の皆さんのもとへ芸術の持つ楽しみや喜びをお届けするアウトリーチ事業を行っています。この『しあわせアート♡物語』事業を通じて、私たちと皆さんで芸術文化の素晴らしさを共感できる、しあわせな時間を紡いでいきたいという思いを込めています。



ストーリー 『しあわせアート♡物語 ～おでかけクラシックコンサート～』は、

大分県内各地の学校や施設などに音楽家を派遣する取り組みです。「子どもたちに本物の音楽を聴かせたい」という学校の先生方、「日ごろ本格的なクラシック音楽に触れる機会が少ないので演奏に来てほしい」という地域の方々にご活用いただいています。皆さんのもとへ演奏に出かけるのは、このプログラムに必要なスキルと条件を満たし、オーディションで選ばれた大分ゆかりの音楽家たち。県内外で活躍中の若手音楽家たちが、実践のための研修やリハーサルを重ね、丁寧に本番に向けた準備をして、皆さんのために上質な音楽を奏でます。

1/24(金) 宇佐市立深見小学校

宇佐市出身の大北絵三子さんによるチェンバロとヴァージナルの演奏は、37名の生徒を魅了しました。その聴きなじみのない音色に興味を引き付けるため、大北さんによる調律という演出からスタート。続いて演奏の前にチェンバロの天板を開けると、内側に描かれた美しい宇佐神宮の絵が現れ、子どもたちから「おー！」という歓声が上がりました。これは大北さんの祖父が描いたもので、チェンバロは目でも楽しめる楽器であると話しました。そして、バッハ作曲「フランス組曲 第5番より アルマンド」の演奏が始まると、繊細な音色に引き込ま



／ おおーきれい！ ＼

れる子どもたち。次にチェンバロとピアノの模型を使って、ハンマーで弦をたたくピアノと、爪で弦を弾くチェンバロの構造の違いなどを説明しました。楽器体験では、模型やチェンバロに触れて音を出したり、豪華な装飾がなされた世界のチェンバロのパネルを見学し、「ギターの音に似ている」「ピアノより音が高いね」などの感想が。続いて同種の小型楽器であるヴァージナルに移動し、楽器を囲むように立って1曲、次に座って目を閉じた状態で1曲聴き、チェンバロとの違いを目と耳で楽しみました。大北さんが「古楽器を使ってその当時の曲を現代に蘇らせる演奏という仕事を、ワクワクしながらやっています」と語り、最後にチェンバロに戻ってもう1曲演奏。子どもたちからは「きれいな音で豊かな気持ちになった」「僕もチェンバロを持っていたら、もっと弾いてみたい」など、興味の強さがうかがえる感想が聞けました。



ARTIST OKITA EMIKO



アーティスト紹介

大北絵三子さん(チェンバロ・ヴァージナル)

高校時代にチェンバロと出会い、音楽大学ピアノ専攻2年次よりチェンバロも学び始める。自宅でピアノ教師を務めるとともに、各地でチェンバロ演奏を行っている。おでかけクラシックコンサートは今回が2回目、「自分の予想以上の感想が飛び出すので、新鮮で驚きも多く、楽しいですね」といって。専門的な知識より、まずはチェンバロの魅力を感じられるようなコンサートの構成を心掛けているそうです。

大分県立美術館

大分県芸術文化スポーツ振興財団では、学校や地域、関係機関と連携しながら美術館を教育に活用する取り組みを、国の助成などにより進めています。その中のひとつ、「びじゅつかんの旅・びじゅつかんの旅じたく」は、美術館のスタッフが学校や園に出かけて楽しい美術体験を行う活動と、子どもたちが美術館に出かけて作品に触れたり見たりする活動を組み合わせたプログラムです。今回は、大分県立聾学校の幼稚部との連携についてご紹介します。

「びじゅつかんの旅じたく」

11/27(水)
大分県立聾学校

まずは学校に美術館のスタッフが出かけ、「びじゅつかんの旅じたく」。長さ5メートルの大きな紙に、ローラーでながーい線を描いたり、紙の筒でスタンプを押したりと、楽しい美術体験をしました。手に絵の具をつけてベタベタ押ししてもOK！子どもたちはからだ全体をつかって楽しみました。あそんでいるうちに、絵の具を混ぜたり、重ねて塗ったりすることで、新しい色やかたちが生まれてくる楽しさを発見した子どもも出てきました。



「びじゅつかんの旅」

12/3(火)
大分県立美術館

「びじゅつかんの旅じたく」の後は、美術館に出かけ、「びじゅつかんの旅」。美術館内のいろいろな作品に触れたりして楽しんだ後、コレクション展示室での作品鑑賞とワークショップ。宇治山哲平の作品をみんなで見て、その形や色、大きさにびっくり。その後、○や□、いろいろなかたちに切った色紙を台紙に貼って、自分なりのミニ宇治山作品を制作。「これはママの好きな色だから使ったよ」など、お話をしながら自分の好きな色や形を選んで、思い思いの表現を楽しみました。



大分県芸術文化スポーツ振興財団・大分県立美術館は、独立行政法人国立文化財機構文化財活用センターや大分県、ANAホールディングス株式会社などの共催により、姫島小学校・中学校と東京国立博物館を結んで、アバター技術を活用した遠隔での社会見学授業を実施しました。

「アバター美術授業」

2/13(木) 姫島村立姫島中学校
18(火) 姫島村立姫島小学校

姫島小・中学校において、アバターロボットを使った東京国立博物館との遠隔美術授業を行いました。13日(木)は中学校2年生がパソコンを使って博物館のアバターを操作し、正門入り口から2階の国宝室まで移動。学芸員の説明を受けながら縄文土器や銅鐸などの作品を、スクリーンを通して鑑賞しました。次に、中学校に配置されたアバターを博物館の学芸員が操作し、博物館から事前に届いた国宝「松林図屏風」の複製を使って説明。「どの季節、どの時間帯を描いた作品だと思いますか」という質問に、「風が強そうだから、冬だと思う」と答えていました。ワークショップでは、5種類の松のスタンプや筆ペンなどを用いて、自分だけの「松林図屏風」を制作しました。生徒からは、「アバターを動かすのが楽しかった」「納得のいく屏風が作れた」などの感想が聞けました。18日(火)には小学校1～3年生が同様にアバターを使って、東京国立博物館を体験する社会見学のような楽しい時間を過ごしました。



／ビビッと豊かなライフスタイル／

びび的ライフスタイルのススメ



原田 博美さん (大分市在住)

メンバーステージ/KOTOBUKI

前身の「emo」から利用させてもらっています。当時は職場の仲間を誘って、仕事終わりに急いで来て歌舞伎やコンサートを観たり…。OPAMがiichiko総合文化センターの隣にできたので、コンサートの前に絵を観たりしています。駅から傘がなくても来られるのも、利用者のことを考えてくれていて感謝ですね。OPAMは美術館なのに窓が大きく開き、飲食もでき、美術以外の体験もさせてくれ、自分の感性を高めてくれる場所です。会員特典であるメンバー内覧会は第一優先で参加し、ここでキャッチした情報を、友達に広げています。「原田さんのおかげで良いものを鑑賞できた」と言ってもらえるのがうれしいですね。趣味の編み物や食事など日々の生活にも、ここで得たことが生きていていると思います。



◀「アート&デザインの大茶会」ではマルセル・ワンダースさんに対面！彼がデザインした口紅を持っていったので感動しました

▶大阪万博の時に5日間通って観た「太陽の塔」が懐かしかったです。記録に残っていることが素晴らしい！[岡本太郎展]



このコーナーに出てください
びびメンバーを募集しています。

粗品を差し上げます

—申し込み先—
☎097-533-4025
もしくはメール
bivi@opam.jpにて

大分県芸術文化友の会



／特典がいっぱい！／

びびメンバー大募集！

びびとは、大分県立美術館（OPAM）とiichiko総合文化センターを中心に、大分県の芸術・文化を多くの皆さんに楽しんでもらうメンバーシップです。最新情報が届くメルマガジンの配信のほか、有料会員になると様々な特典が、コンサートや展覧会などをお得に楽しめます。

● 有料会員特典内容の一例

お友だちの分も一緒にOK!
※枚数制限があります

特典1
先行予約
ができる

企画展・コレクション展は
無料!!
※KOTOBUKI・TAKASAGO限定

特典3
無料鑑賞・割引
がある

特典4
駐車場券
進呈

特典5
各種
サービス
がある

iichiko総合文化センターが主催、共催または指定する公演のチケットが一般発売前に10%割引等メンバー価格で購入できます。KOTOBUKIメンバーはセンター主催公演(※)のチケットが15%割引となります。
※令和2年4月1日以降に発売日を設定した公演からとします。

大分県立美術館(OPAM)主催の企画展の無料鑑賞や内覧会ご招待など。

法人……………40時間(8,000円分)
KOTOBUKI…………25時間(5,000円分)
TAKASAGO…………10時間(2,000円分)
の駐車場券を進呈します。

「びびshop」で割引やプレゼントなどの特別サービスが受けられます。「OPAM Museum Shop」でも5%割引(一部商品を除く)となります。

● メンバーステージと年会費

法人	KOTOBUKI	TAKASAGO	UME	MEJIRO
50,000円(1口)	10,000円	5,000円	2,500円	無料

※メンバー期間は入会日または更新日から1年経過した日の属する月の月末までです。

- ◎入会は随時受け付けています。
- ◎メンバーズカードは、会費の納入を確認後、1～2週間後に郵送いたします。いったん納められた会費の払い戻しはいたしません。
- ◎特典内容はメンバーステージによって異なります。

今回の表紙の写真は…



ペDESTリアンデッキから見た大分県立美術館です。

世界的建築家・坂 茂氏による設計を印象づける美術館南側の外壁。うっとりするような美しい意匠はもちろんのこと、大分県産のスギを用いたり、開放的な空間を演出する大型ガラスを使用したり、その素材にもこだわりが満載です。館内3階に上ればそのこだわりを間近で見ることがもできます。表紙を撮影したペDESTリアンデッキは、実は隠れたフォトスポット。OPAMの全貌をカメラに収めたい方にオススメです。

● 問合せ・申込先

(公財)大分県芸術文化スポーツ振興財団
大分県芸術文化友の会 びび

〒870-0029 大分市高砂町2-33 E-mail bivi@opam.jp
tel.097-533-4025 / fax.097-533-4050

▼ 申込方法等の詳細はHPへ。 /

びび友の会

http://www.opam.jp/bivi